

平成26年度  
学校評価報告書



黒部市立たかせ小学校

# 目 次

1	学校の運営方針	.....	P1
2	学校アクションプラン計画 (学校の目標を重点化して学校改善を図るもの)	.....	P2
3	学校アクションプラン結果／成果と今後の取組 (児童の自己評価結果/成果と今後の取組)	.....	P3～5
4	学校評議員会記録（学校関係者評価）	.....	P6～8
5	保護者アンケートのまとめと返信＜第1回、第2回＞ (学校での学習や生活、学校と家庭の連携他)	.....	P9～19
6	教育活動の振り返り（内部評価）		
	(1) 1学期の反省をふまえた2学期の重点事項 ・教務部会、生徒指導部会、保健部会	.....	P20～22
	(2) 2学期の反省をふまえた3学期の重点事項 ・教務部会、生徒指導部会、保健部会	.....	P23～25
	(3) 今年度の成果と来年度に向けた課題	.....	P26～27

# 1 学校の運営方針

H26/4/19 (学校だより2号)

## 学校の教育目標

素直な心とたくましい体で、進んで学ぼうとする子の育成

【心】「きれいな心の子」……………感謝と思いやりの心をもつ子

【知】「大きな夢もつ子」……………目標をもって進んで学ぶ子

【体】「笑顔いっぱいの子」……………元気でたくましい体をもつ子

## 「ありがとう」「ごめんなさい」「はいっ」と言える子供に

### 大きな夢もつ子

#### 分かる授業づくり

- 授業における基礎的・基本的な学習内容の確実な習得
- 「学習習慣チェックカード」による学校や家庭における学習習慣づくり
- 安心して学習に取り組める授業での約束事の成立  
～学習規律の確立～

### きれいな心の子

#### 温かい人間関係づくり

- 授業や学級活動、縦割り班活動を通した温かい人間関係づくり
- あいさつ運動の推進  
「笑顔であいさつ！」  
・おはよう、こんにちはさようなら
- 「あったか言葉」の推進  
・ありがとう、よかったね  
ごめんなさい、いっしょに遊ぼう、すごいね他

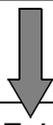
### 笑顔いっぱいの子

#### 心身の健康づくり

- 「元気にこここカード」の活用による望ましい生活習慣づくり  
・早寝・早起きの推進  
・ノーゲームデーの設定
- 「チャレンジ3015」の活用による体力づくり  
・全校リレー (毎週木)  
・大縄跳び(冬季毎週木)  
・3分間マラソン他  
・晴れた日の大休憩での外遊びの推進



(連携・協力)



(連携・協力)



家庭で取り組みたいこと

### 家庭学習の習慣づけ (勉強こつこつ)

- 家庭学習の習慣を身に付けさせましょう。  
※「10分×学年」の時間を目標に机に向かえるように支援しましょう。
- 決まった場所で、決まった時間に学習できるように学習環境を整えてあげましょう。  
※低学年は自分の部屋に限らず、子供が安心できる場所でさせてあげましょう。

### 家族のふれあい (ふれあいたっぷり)

- あいさつの声が響く家庭にしましょう。  
※おはよう、ただいまおかえり、おやすみ
- 家族で、お互いの気持ちを伝え合ひましょう。  
※ありがとう、ごめんなさい、よかったね
- 家族で決めた手伝いを継続的にさせましょう。  
※家族の一員として、共に支え合う喜びをもたせましょう。
- 「よいこと」「悪いこと」の判断を教えましょう。

### 規則正しい生活リズム (けじめ、しっかり)

- 早寝、早起きができるように支援しましょう。
- バランスのよい3度の食事をしっかり食べさせましょう。  
※特に朝食は、一日の生活の元気のエネルギーになります。また、学習意欲や心身の健康にも影響するといわれています。
- ゲームやテレビの視聴時間は、家族で約束事を決めましょう。  
※自分で決めたことを守れる子にさせましょう。

## 2 学校アクションプラン計画

H26/5/9 (学校だより4号)

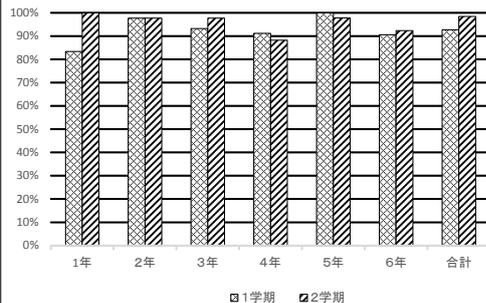
重点項目	【心】「きれいな心の子」……………感謝と思いやりの心をもつ子
重点課題	◆ 好ましい人間関係づくり (「あったか言葉」の推進)
具体目標	・自ら進んで「あったか言葉」を使うことができる児童の達成率80%以上
方 策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校内で増やしたい「あったか言葉」を考えたり、クラスごとに発表したりする等、ハッピープロジェクト委員会が中心になって「あったか言葉」運動を進める。</li> <li>・子供たちが「あったか言葉」のよさを意識できるように、教職員からも積極的に「あったか言葉」で声かけをしたり、掲示物等の校内環境を工夫したりする。</li> <li>・「あったか言葉」振り返りカードを活用し、その習慣化に努める。</li> </ul>

重点項目	【知】「大きな夢もつ子」……………目標をもって進んで学ぶ子
重点課題	◆ 望ましい学習習慣の定着 (家庭学習)
具体目標	・学習習慣チェックカード(自己評価)の児童達成率80%以上
方 策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「家庭学習の手引き」の内容をより具体的にしたり、自主学習ノートなどを用いたりしながら、学校と家庭が連携しながら学習の習慣化を図っていく。</li> <li>・「学習習慣チェックカード」の「ふりかえりカード」を活用し、自分の取り組みの様子を振り返りながら、学習内容の充実を図っていく。</li> <li>・家庭学習の取り組みについて紹介するコーナーを設け、互いの取り組みのよさを参考にしながら、見通しをもって取り組めるようにしていく。</li> </ul>

重点項目	【体】「笑顔いっぱいの子」……………元気でたくましい体をもつ子
重点課題	◆ 望ましい生活習慣の育成
具体目標	・ゲーム使用・テレビ等の視聴時間を見直し、早寝をする児童の達成率80%以上
方 策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「みんなでチャレンジ3015」を活用したり、校内放送で呼びかけたりして、毎朝の自主マラソンや晴れた日の外遊びを奨励し、運動の日常化を図る。</li> <li>・「元気にこここカード」を活用し、早寝・早起きの習慣を身に付ける。</li> <li>・ノーゲームデーを設定し、望ましい生活習慣の定着を図る。</li> <li>・「早寝・清潔検査」や「ゲンキッズ作戦」の結果を家庭と共有し連携しながら、健康な生活への意識を高める。</li> </ul>

### 3 学校アクションプラン結果／成果と今後の取組

(児童の自己評価結果／成果と今後の取組)

重点項目	【心】「きれいな心の子」……………感謝と思いやりの心をもつ子																									
重点課題	◆ 好ましい人間関係づくり（「あったか言葉」の推進）																									
具体目標	・自ら進んで「あったか言葉」を使うことができる児童の達成率80%以上																									
方 策 (取組)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校内で増やしたい「あったか言葉」を考えたり、クラスごとに発表したりする等、ハッピープロジェクト委員会が中心になって「あったか言葉」運動を進める。</li> <li>・子供たちが「あったか言葉」のよさを意識できるように、教職員からも積極的に「あったか言葉」で声かけをしたり、掲示物等の校内環境を工夫したりする。</li> <li>・「あったか言葉」振り返りカードを活用し、その習慣化に努める。</li> </ul>																									
																										
	「学級で考えたあったか言葉」	「あったかエピソードの発表」																								
	「あったかすごろく（集会）」																									
結 果	<p style="text-align: center;"><b>生活習慣(あったかことばを使う)</b></p>  <table border="1"> <caption>生活習慣(あったかことばを使う)の達成率</caption> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>1学期 (%)</th> <th>2学期 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1年</td> <td>82</td> <td>95</td> </tr> <tr> <td>2年</td> <td>95</td> <td>95</td> </tr> <tr> <td>3年</td> <td>92</td> <td>95</td> </tr> <tr> <td>4年</td> <td>88</td> <td>90</td> </tr> <tr> <td>5年</td> <td>95</td> <td>95</td> </tr> <tr> <td>6年</td> <td>88</td> <td>90</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>90</td> <td>94</td> </tr> </tbody> </table>	学年	1学期 (%)	2学期 (%)	1年	82	95	2年	95	95	3年	92	95	4年	88	90	5年	95	95	6年	88	90	合計	90	94	<p>＜生活チェックカードの項目＞  「ありがとう」「一緒に遊ぼう」などの「あったか言葉」を使うことができた。(80%以上)  全校児童の合計の割合が、1学期93%、2学期94%と1・2学期とも達成率は90%を超えていた。</p>
学年	1学期 (%)	2学期 (%)																								
1年	82	95																								
2年	95	95																								
3年	92	95																								
4年	88	90																								
5年	95	95																								
6年	88	90																								
合計	90	94																								
成 果 と 今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1学期には、学級ごとに増やしたい「あったか言葉」を考えました。2学期には、各クラスのよさを認め合う「あったかエピソード」の発表や掲示、また、人権集会において「あったか言葉」のよさを実感できるグループ活動等を工夫しました。それにより、「あったか言葉」への関心を高めることができました。</li> <li>・今後は、帰りの会での「ほめほめタイム」「あったかメッセージ」など、感謝の気持ちや思いやりを育てる学級での温かい取組を充実させていきたい。</li> </ul>																									

重点項目	【知】「大きな夢もつ子」……………目標をもって進んで学ぶ子
重点課題	◆ 望ましい学習習慣の定着 (家庭学習)
具体目標	・学習習慣チェックカード (自己評価) の児童達成率80%以上
方 策 (取組)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「家庭学習の手引き」の内容をより具体的にしたり、自主学習ノートなどを活用したりしながら、学校と家庭が連携して学習の習慣化を図っていく。</li> <li>・「学習習慣チェックカード」の「ふりかえりカード」を活用し、自分の取組の様子を振り返りながら、学習内容の充実を図っていく。</li> <li>・家庭学習の取組について紹介するコーナーを設け、互いの取組のよさを参考にしながら、見通しをもって取り組めるようにしていく。</li> </ul>



1年 国語 じどうしゃくらべ



6年 理科 大地のつくり



3年 算数 わり算を考えよう

結 果	<p>学習習慣(家庭学習 めやす時間 10分間×学年)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>1学期 (%)</th> <th>2学期 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1年</td> <td>100</td> <td>92</td> </tr> <tr> <td>2年</td> <td>95</td> <td>98</td> </tr> <tr> <td>3年</td> <td>92</td> <td>95</td> </tr> <tr> <td>4年</td> <td>88</td> <td>95</td> </tr> <tr> <td>5年</td> <td>92</td> <td>98</td> </tr> <tr> <td>6年</td> <td>72</td> <td>78</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>86</td> <td>88</td> </tr> </tbody> </table> <p>■ 1学期 ■ 2学期</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1学期は、学年が進むにつれ達成率が低くなっていた。しかし、2学期になると、その傾向は解消されつつあり、全体的にはどの学年も達成率が高くなった。全体としての達成率は、1学期は86%、2学期は88%という結果であった。</li> </ul>	学年	1学期 (%)	2学期 (%)	1年	100	92	2年	95	98	3年	92	95	4年	88	95	5年	92	98	6年	72	78	合計	86	88
学年	1学期 (%)	2学期 (%)																							
1年	100	92																							
2年	95	98																							
3年	92	95																							
4年	88	95																							
5年	92	98																							
6年	72	78																							
合計	86	88																							

成 果 と 今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各学級での指導の成果もあり、全体的に家庭学習に取り組む子供が多くなってきている。特に、どの学年も「自主学習ノート」の活用を工夫したことや、家庭学習への具体的な指導に取り組んだことがよい結果につながったと思われる。</li> <li>・今後さらに家庭学習を充実させていくには、「授業と家庭学習」「学校と家庭との連携」について考えていく必要がある。「授業と家庭学習」では、学習内容の復習や発展、予習などに効果的につなげていけるようにしていきたい。また、「学校と家庭との連携」では、家庭学習に対する取組の情報を積極的に発信し、家庭と協力して取り組んでいきたい。</li> </ul>
-------------------	--

重点項目	【体】「笑顔いっぱいの子」…………… 元気でたくましい体をもつ子																																																
重点課題	◆ 望ましい生活習慣の育成																																																
具体目標	・ゲーム使用・テレビ等の視聴時間を見直し、早寝をする児童の達成率80%以上																																																
方 策 (取組)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「みんなでチャレンジ3015」を活用したり、校内放送で呼びかけたりして、毎朝の自主マラソンや晴れた日の外遊びを奨励し、運動の日常化を図る。</li> <li>・「元気にここカード」を活用し、早寝・早起きの習慣を身に付ける。</li> <li>・ノーゲームデーを設定し、望ましい生活習慣の定着を図る。</li> <li>・「早寝・清潔検査」や「ゲンキッズ作戦」の結果を家庭と共有し連携しながら、健康な生活への意識を高める。</li> </ul>																																																
結 果	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="379 719 887 1122"> <p style="text-align: center;">ゲーム・テレビの視聴</p> <table border="1"> <caption>ゲーム・テレビの視聴</caption> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>1学期 (%)</th> <th>2学期 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1年</td><td>88</td><td>92</td></tr> <tr><td>2年</td><td>82</td><td>84</td></tr> <tr><td>3年</td><td>82</td><td>96</td></tr> <tr><td>4年</td><td>98</td><td>94</td></tr> <tr><td>5年</td><td>88</td><td>94</td></tr> <tr><td>6年</td><td>92</td><td>82</td></tr> <tr><td>全校</td><td>88</td><td>90</td></tr> </tbody> </table> </div> <div data-bbox="911 719 1418 1122"> <p style="text-align: center;">早寝・早起き</p> <table border="1"> <caption>早寝・早起き</caption> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>1学期 (%)</th> <th>2学期 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1年</td><td>78</td><td>78</td></tr> <tr><td>2年</td><td>84</td><td>80</td></tr> <tr><td>3年</td><td>74</td><td>78</td></tr> <tr><td>4年</td><td>76</td><td>76</td></tr> <tr><td>5年</td><td>70</td><td>78</td></tr> <tr><td>6年</td><td>68</td><td>68</td></tr> <tr><td>全校</td><td>76</td><td>76</td></tr> </tbody> </table> </div> </div> <div style="margin-top: 10px;">  <ul style="list-style-type: none"> <li>・全校リレーや大縄跳びに加えて新たに業間マラソン、全校縦割りレクリエーションを実施し、スポーツ委員会が中心となり、いろいろな運動に楽しく取り組んだ。また、朝の自主マラソン、空っぽタイムの声かけも、進んで運動したり遊んだりすることにつながった。</li> <li>・児童・保護者対象に学校保健委員会を開催し、ゲームが心身に及ぼす影響について学んだ。各家庭でのルール作りや見直しをするきっかけとなり、ゲームの約束を守っている児童は89%となった。早寝調べでは、決められた時間までに就寝している児童は80%を大きく上回ったが早寝早起きの自己評価は76%となり、日常化はやや難しかった。</li> </ul> </div>	学年	1学期 (%)	2学期 (%)	1年	88	92	2年	82	84	3年	82	96	4年	98	94	5年	88	94	6年	92	82	全校	88	90	学年	1学期 (%)	2学期 (%)	1年	78	78	2年	84	80	3年	74	78	4年	76	76	5年	70	78	6年	68	68	全校	76	76
学年	1学期 (%)	2学期 (%)																																															
1年	88	92																																															
2年	82	84																																															
3年	82	96																																															
4年	98	94																																															
5年	88	94																																															
6年	92	82																																															
全校	88	90																																															
学年	1学期 (%)	2学期 (%)																																															
1年	78	78																																															
2年	84	80																																															
3年	74	78																																															
4年	76	76																																															
5年	70	78																																															
6年	68	68																																															
全校	76	76																																															
成 果 と 今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全校で運動する機会や自主的に運動する機会を設けることで、子供たちは楽しくめあてをもって運動に取り組むことができた。</li> <li>・「とやまげんキッズ」の集計結果を保健だよりや学校保健委員会で知らせ、家庭との連携を図った。全校で取り組んだ一日の生活リズムの見直しも実態をふまえ学級懇談会で話題にし、保護者と一緒に考えた。これは、これからの成果に現れてくるであろう。早寝・早起きの習慣は年齢が進むにつれ乱れがちとなる。今後も学級指導や家庭との連携を一層進めて習慣化に努めていきたい。</li> </ul>																																																

## 4 学校評議委員会記録(学校関係者評価)

(1) 第1回評議員会

平成26年7月4日(金)

○評議員 □校長・教頭

### 【ゲーム機について】

○小学校のゲーム機の保有率はどのようなものか？

↓

○かなり保有率が高い、特にオンラインゲームではトラブルが多い。

□学校としては、夏休みの前に家庭での約束を立て、家族が見守り約束を守るようにして欲しい。

### 【携帯電話・スマートフォンについて】

○中学校入学時点で、携帯電話等を子供に買い与えている親が多いようだ。

○鷹施中学校では、1年生の所有率が高く、その内の30%がスマートフォンだと聞いている。また、怖いのはラインだということだ。

□一旦トラブルが起こるとそれから抜け出すためには、大きなエネルギーが必要である。そのようなトラブルが起こらないような手立てが必要である。

○携帯とスマートフォンを比べるとスマートフォンのガードは弱い。そのため個人情報などを吸い上げられることもある。

### 【パソコンについて】

○子供が静かに作業をしているが、よく見るとパソコンに集中していることもある。

○パソコンを1時間でシャットダウンするように設定している。1時間と限られた時間なので、集中してパソコン操作をしている。

### 【統合について】

○統合してよかった点は、キッズでの様子を見てみると、子供たちはとても仲良くなっている。指導員としてもあまり気にならない。一方で、両地区の決まりごとをすり合わせていくことが難しい。「変わっていい部分」と「変えてはいけない部分」の線引きが難しい。

○PTAでも旧東布施小・旧田家小でのやり方が違っている。同じことをやるにしても違ったことをやるにしても、丁寧に説明する必要がある。

↓

○遠慮せずに話をする必要がある。何回も交流しないとすり合わせが進まない。

### 【保護者について】

○大切なことは保護者にしっかりと伝えていくことが大切であるので、そのことをキッズでは心がけている。保護者自身も決まりごとを守ってほしい。

○クレイマーと呼ばれるような保護者はいるのか？

↓

□他校が苦しんでいるような保護者はいない。不登校児童もおらず、給食未納者もない状況なので、とても助かっている。

○言葉の使い方はとても難しい。最終的には保護者の判断であるが、さりげなく言うようにすることで、親を教育していく必要がある。

□人と接する場合、言葉は大きな効果を持たない。表情やしぐさが大切である。

大切な話をする場合は、顔をつき合わせる必要がある。これらのことを通して保護者と教師との関係づくりをしていかななくてはならない。

□学校だよりを頻繁に出すことによって、情報発信を盛んに行っている。学校を注目してもらい、応援してもらおうと考えている。

↓

○とてもよい話書かれている。親子関係や教育などについて気付ける話題が載せられている。若い保護者に読んでもらいたい。

【親子関係について】

○子供が小さな頃から、親子でコミュニケーションをとることが大切である。中には、愛情不足のため大人から離れられない子供もいる。

□心に不安・悲しみ等何かを持っているのではないかと思わせる子供が昔と比べると多い。保護者にもがんばってもらって、解消していきたい。

○親の前ではよい子になっている子供がいるが、この原因は核家族化にあるのではないか。このことは、地区の人への挨拶にも関係している。

□子供が小さい頃には、力等で押さえつけることができるが、いつかは不満を爆発する時期がくる。そうならないためにも、小さな頃から心の耕しが必要である。

【その他】

○鉛筆の正しい持ち方はできているか？

↓

□指導を続けているが、しばらくすると元の悪いくせに戻る場合が多い。家庭とも連携して指導を続けていく必要がある。

□自転車の乗り方については、指導を続けていく必要がある。場合によっては、自転車の運転者が加害者となる場合も出てきている。このことは、子供たちだけでなく保護者にも伝えていく必要がある。

(2) 第2回評議員会

平成27年2月27日(金)

○評議員 □校長・教頭

【旧東布施小学校校舎等の利用について】

○両地域を知るという意味合いで、旧東布施小学校の校舎を利用することも考えられる。

↓

○校舎の保守、点検等が十分ではないので、安全性に自信をもつことができない。そのため、校舎等を利用していくには難しい面がある。

□校舎を使うという視点から離れて、地域探検等で地域を知ることが大切にしていけばよいのではないか。

○田朶地区に、カドミウム汚染土への客土を提供した場所がある。社会科等の教材になる可能性をもっている。

【統合1年を経て】

□両地域の子供たちは、普段の学校生活や学校行事を通して、お互いに関わり合い、スムーズに一人一人がたかせの子となったようである。

○学童では運営方法に違いがあり、不安な面があった。しかし、子供たちはすぐに仲良くなり、順調に運営することができた。

○道路でたかせ小の子供たちを見かけることがあるが、みんな元気で明るい様子

である。

#### 【交通安全について】

- 3月上旬に期間道路が完成する。温泉病院付近の十字路は、最初1か月四方向一旦停止となるが、その後は、新しい道が優先道路となる。交通量も増えることが予想され、危険な場所になる。
- 信号機を付けたり、止まれの表示をしたりすればよいのだが、なかなか前進しないことが多い。学校で困っていることがあれば、地区に相談することも大切である。
- 自転車の使用については、地域間の交流は控え、それぞれの地域だけ乗るようにしている。途中の交通量やそれに伴う安全性を考えるとこのままでよいと思う。

#### 【民謡クラブについて】

- たかせ小学校に民謡クラブができた。特に、田家地区の敬老会での発表はとても好評であった。
- 東布施地区では、公民館祭りでも行っているが、田家地区では活動場所の関係もあり、プログラムに取り入れるのは、難しい面がある。
- 来年度は、たくさんの子供たちが踊りにたずさわれるよう、クラブ員が増えることを願っている。

#### 【学校運営について】

- 現在のところ、不登校はいない。また、給食費未納者もないなど、とても助かっている。ただ、人間関係のトラブルは、学年問わず、小さなものはある。
- モニターペアレントもない。ただ、担任に相談してほしいことが担任を飛び越えていくことがある。家庭の考え方が様々であることを念頭に置き、対応していくことが大切である。また、協力していただかなければならない時には、その要請をしっかりと行っていくことも必要である。
- 東布施地区では、地域の子として、どの子供も指導すべきことは指導するようにしている。また、田家・東布施とも仲がよい。田家地区では「こんにちは」等の挨拶が多く交わされていると思う。
- 冬期の鏡野方面のジャンボタクシーは運行されている。上田家野公民館横の駐車場の除雪がなされ、とても助かっている。

#### 【携帯電話について】

- 携帯電話の保有率が上がっている中で、子供の前で大人が頻繁にスマホを操作する姿が見受けられる。大人が手本を示すことができないだろうか。
- 子供たちは、盛んにゲームをしているが、ゲームはインターネットと同じで情報が流れやすい。いかにゲームや携帯電話などを使いこなすかが、大きな課題である。
- 架空請求等、子供をねらいだすと怖い面がある。このような情報端末の普及によって、都会と田舎の格差がなくなってきている。

#### 【PTAについて】

- 学習参観後の懇談会に出席するようにし、保護者が情報を共有できるようにしていかななくてはならない。保護者が子供のよき手本となるようになるよいと思う。
- 祖父母がいる家庭は、子供たちがいろいろな思いにふれたり、息抜きの場となる場所があったりするなど、何事にもかえがたいよい面をもつ。

## 5 保護者アンケートのまとめと返信

### 第1回 保護者アンケートのまとめと返信 Part1 H26/9/1 (学校だより12号)

#### 学校の教育活動・家庭と学校の連携他

##### <学校での学習や生活>

- 先生に、ほめてもらえた、認めてもらったときは、とてもうれしいようで、本人のやる気が違います。小さなことでも見逃さずに本人に伝えていただけていることを感謝しています。
- ふれあい週間(個別面談)のように、今後も短い時間でもよいので、定期的に子供のそのときの気持ちを聴いたり、話したりする機会を設けてほしい。自分から先生に話しかけられない子供もいると思うので……
- ※ふれあい週間は年間3回予定しています。また、学校では、日頃の子供のよさや成長を見つけたり、気になる変化を察知したりして、温かな声かけでできるように心がけたいと思っています。
- 宿題の量を増やしてほしいです。特に漢字の読み書きは、自主学習でも習得しきれてない気がしています。
- 漢字を書く宿題がいっぱいあるので、その分漢字が覚えられるので、今後も続けてほしいです。
- 学習の量ももう少し多くてもよいかと思いますが、それぞれ自主学習で対応すればよいのでしょうか。
- 再テストや個別指導など今後も続けてください。我が子は漢字が苦手なのでなんとか覚えてほしいです。
- ※宿題が、学習内容の定着を図り、家庭学習の習慣化や意欲につながるように工夫していきます。特に、低学年の宿題は、お家の方の見守りや助けが必要になると思いますので、よろしくお願いします。
- 給食、清掃や全校リレーなど縦割りの交流活動が多く、そこから子供はいろんなことを学んでいるようです。
- 校外学習で、地域のことを学ぶことは、とてもいいことです。地域の方とのふれあいもできて、貴重な体験です。子供は発見したことを、家でうれしそうに話してくれます。
- クラブ活動が楽しかったようです。他学年の子とも交流できて、話をよく聞かせてくれました。
- 委員会活動をがんばっていました。当番の日は責任をもって取り組み、頼もしく感じました。
- 全校リレーを、ときどき見に行きました。学年を越えたつながりを感じています。ぜひ続けてください。また、グラウンドのラインの釘が抜けやすいと聞いたので早急に直してあげてください。
- ※ラインについてはご心配をおかけしました。夏休みに入って早急に直しました。
- 運動会でも、ダンスとか組体操など演技する種目があれば見応えがあつていいと思うのですが……
- ※運動会では、東布施小の伝統を生かして、「新布施谷節」の踊りに全校で取り組みます。
- スポ少での優勝旗等を学校で展示できないでしょうか。子供たちの励みにもなります。
- ※スポ少の受賞披露はいつも全校で行っています。ただ、本校は空き教室もなく、廊下も狭く、保管や展示をするスペースも棚もない状態です。披露後は、トロフィなどをお返しすることをご理解ください。
- 毎年のことながら、暑くなってくると子供の体調が気がかりです。学校にも冷房が必要ではないでしょうか。子供の命を守るためにも、学校の冷房設置を要望します。
- ※冷房の設置はいまのところ難しいのが現状です。ただし、今年度は、図書室に冷房が設置されました。また、教室に扇風機が1台しかなかったところは、2台の扇風機を設置しました。

##### <学校と家庭の連絡・相談>

- 日頃、なかなか先生と話ができない分、連絡帳のやりとりは助かっています。心配事などを記入したら、くわしくていねいに返事が返ってくるのでうれしいです。
- 連絡帳に心配なことばかりでなく、がんばったことも書いてくださったことがありますうれしく思いました。電話をしてくださることもあり、話を聞いたり、自分の気持ちを伝えたりできました。

○家庭で困ったことなど連絡帳を通して相談にのっていただけると、気持ちも楽になって、見守ってあげようという気持ちになりました。

○子供が学校であったこと、先生との楽しい出来事などをよく話してくれます。ささいなことでも先生に相談しようと思えるようになりました。

※保護者の方の不安の多くは、我が子が学校でどのように過ごし、何に喜び、何につまずき、不安を感じているのか分からないことではないかと思っています。そこで大切にしたいのが、お互いの一本の電話、連絡帳の一言などの「ちょっとした連絡・相談」です。子供のうれしい成長や心配していることをお互いに伝え合って、子供のことをいっしょに考え見守る関係を築いていきたいと思っています。

### ＜家庭への情報提供＞

○学校だより「たかせの子」、学年だより、保健だよりがタイムリーに発行され、写真も多くあって学校の様子がよく分かります。子供との会話もはずみます。今後も楽しみにしています。

○学年だよりに今月の学習欄があり、いま何を勉強しているのか分かるのでとてもいいです。

○学校だよりの校長先生の言葉や、子育てコラムなどは、とても心に残るものや役立つものは保存してあります。ときどき読み返しています。これからも楽しみにしています。

○ホームページが毎週のように更新されていて、いつも子供と一緒に見て盛り上がっています。

○いろいろなおたよりや連絡帳を子供が出さなかったり見せなかったりがときどきあります。でも、子供に確認して、しっかり目を通して、子供との会話にも生かしたいと思っています。

○学年だよりで、友達とのやりとりの様子や学習の苦手なところなども教えてもらえるいいです。また、大きなテストの日程も教えてもらえるので、家でも子供に声かけできるのでお願いします。

※各種おたよりやホームページには、作成している先生の思いがたくさん詰まっています。保護者の皆さまにはたくさんの応援メッセージをいただきました。ありがとうございました。

○学校共通のおたよりや各種案内、アンケートなどは、兄弟がいる場合に同じプリントをもらうことになります。もったいないので、上の学年の子供だけの配布はできないでしょうか。

※おたよりや案内は保護者の方に目を通していただくと同時に、子供と一緒に大事な連絡の確認をしたり、学校生活を振り返ったりして活用しています。そのための全児童配布とご理解ください。

○安全メールなど、子供のための安全情報はささいなことでも知りたいので、今後お願いします。

※安全メールにご理解いただき加入率は95%を超えています。今後も、登録を受け付けています。

### ＜PTA活動、他＞

○PTA活動は、役員の方ががんばる（負担が大きい）イメージがあるので、プール当番などPTA全員でできることは、もっとやった方がいいと思っています。

※今年度、プール当番やお楽しみ会の準備なども、一般会員の方に呼びかけてご協力いただきました。

○お楽しみ会の日、朝の資源回収から夜の花火まで長すぎると思う。役員の方の負担も大きい。

○PTAお楽しみ会は、カレー作りもなくなり、役員の負担も軽減されたのではないかと思います。

※ご存じの通り、P役員会でお楽しみ会を見直し、カレー作りや夜の花火は取りやめました。

○授業参観後の懇談会の参加が少ないのが残念です。先生や保護者間で話ができるいい機会なのに。

○1日参観があれば、自由な時間に学校へ行けて、給食や休み時間の様子も見られたらいいです。

※11月に英会話の公開授業を含めて一日参観を予定しています。子供のいろいろな姿をご覧ください。

子供の家庭生活

(低/低学年、中/中学年、高/高学年)

＜家庭学習の習慣づけ……勉強コツコツ＞

- 帰宅後に宿題をする習慣が身についてきた。今も声かけは必要だが前よりスムーズになった。(低)
- プリントは学童でしてくることが多いが、本読みは自分から進んでたくさん文を読んでいきます。計算が苦手なのか、なかなか進まないのて方法を教えながら行っています。(低)
- ※低学年は、まだまだ、手助けが必要な時期。わずかな時間でいいから、いっしょに宿題をやったり、できた宿題を少しだけでも見てください。集中力がないときに「早く、早く」は逆効果。「ゆっくりでもいいからね」「がんばったね」「ここは難しいよね」と、がんばりやつまずきに共感してあげてください。
- 下校したら、まずランドセルを開けて、宿題、時間割、鉛筆削りをする習慣が身についた。(低)
- 学校から帰宅後は、遊ぶことが優先になり、宿題をさせるのも一苦勞です。(低)
- 学級懇談会で他の家庭の学習や様子を聞き、安心したり参考にしたりできてよかったです。(低)
- 親の仕事時間が不規則なため、決まった時間に学習できるように環境を整えるのが難しい。(中)
- 最近始めた自学ノートのおかげで楽しそうに家庭学習に取り組んでいます。自学ノートについて話をする時間が増え、以前より子供から学校での話など会話する時間が増えてきました。(中)
- 最近気になっていることは、宿題を終わらせることに一生懸命で実際に身につけていないように思います。やろうとする姿勢だけでも認めてあげるべきだと思いますが、少し心配です。(中)
- 今までは宿題だけやって終わっていたのですが、新学期からは、パワーアップノートで漢字練習や計算練習に取り組んでいるのが、とても頑張っていると思います。(中)
- 宿題さえもなかなかとりかかろうとしません。何度もうながしてやっととりかかるという感じです。学習する場所、時間、環境を整えことを改めて考え直していこうと思います。(中)
- ※家庭学習になかなか取り組めない子には、小さな目標を設定して、できた成功経験を積み上げたり、その努力を認めたりしたいですね。気をつけたいのは、親のペースで、「早く」「がんばれ」「ダメ」をひんぱんに使うと、子供はそのことだけを目標にしてしまいます。ときには、失敗も見守りましょう。
- いつも宿題をすぐ終わらせて自主勉強にもこつこつ取り組んでいます。ただ、私がどんな勉強をしているか把握していないことがあり、もっと一緒に見てあげてもいいのにと反省しています。(中)
- 学校から帰ってきて、宿題をせずに遊びに行かないこと、ゲームをしないことを家族の約束にしています。できていることを、ほめてあげたいです。(高)
- 家庭学習をがんばっています。自分なりのまとめのノートを作り、授業の復習をしている様子です。習慣となるように声かけをしていきたいです。(高)
- 自分で考えて勉強するようになってきましたが、なかなか集中してできないのが現状です。目標の学年×10分は勉強していますが…。本人は大変そうなときもあるようです。(高)
- 家庭学習になると、早く終わらせようとしているのか漢字練習が多くなり、字も乱雑になったりするので、4教科の苦手なところを学習するように声をかけたいと思います。(高)
- 自分なりに家庭学習をするようになったので、その姿を認めるような言葉をかけています。叱られてやるよりも、ほめられ認められたりすることで学習に取り組むようになりました。(高)
- スポ少のサッカーがあって、本人なりに時間の使い方を工夫して頑張っています。来年は中学生な

ので、時間の有効な使い方を身につけて両立を目指してもらいたいです。(高)

○クラスの人数が増えたためかテストや自学学習のときのやる気が見えるようになりました。(高)

※子供なりにがんばったのに思うような結果がでないことがあります。そんなときは、「努力が足りない」などと正論を言う前に、「残念だったね」の慰めの言葉、「よくがんばったよ」のねぎらいの言葉、「またチャレンジしよう」の励ましの言葉など、その子に合ったやる気を引き出す言葉を探してください。

### ＜家族のふれあい……ふれあいたっぷり＞

○学校の取り組みで、「あったか言葉をたくさん言えたよ」「今日はゲーム・テレビ0の日」と教えてくれます。自分で意識していることだけでも成長したなと思っています。(低)

○いろんなことに頑張っています。それが日々当たり前になり、認めてあげることが少なくなっていました。もっとほめてあげよう。そして、ゆっくり見守っていこうと思っています。(低)

○よいことと悪いことの区別を話し合ったり、繰り返し伝えたりしているが、本当に自分たちの方法で正しいのか、本人に伝わっているのか心配になることがあります。(低)

○あいさつできる子になってほしいです。登校中に合う大人にも挨拶するように言っても「知らない人とは話さない」と返事がきます。どう教えればよいか困っています。(低)

○家では集中力がなくダラダラすることが多い。一度言い出したら聞かなかったりすることがある。あせると泣いたり怒ったりすることがあるので、安心感をもつようにしてやりたい。(低)

○朝や晩のあいさつはもちろんですが、「ありがとう」をいつもたくさん言ってくれて、心がホッとして、幸せな気持ちになります。先生のご指導のおかげです。(中)

※学校でも取り組んでいる「ありがとう」や「ごめんなさい」を、家庭でも取り組んでいただいていることに感謝しています。なかなか言えない子もいますが、私たち大人の方から、感謝やあやまりの気持ちを言葉にしていきたいですね。きっと「人の気持ちがわかる子」「思いやりのある子」に育ちます。

○弟の方が悪い言葉を言ったとき、その耳元で謝ることを教えていました。成長を感じました。(中)

○最近、子供がよくない言葉(乱暴な言葉)を使うようになったので気になっています。(中)

※そんな時期があるものですが、あまりに頻繁なようなら、「あなたの、その乱暴な言葉、残念だな」と、親としての率直な思い、心配な気持ちを伝えましょう。きっと心の中では分かっています。

○以前よりも、学校での出来事や友だちとの会話・様子を伝えてくれるようになりうれしいです。(中)

○決めたお手伝いはありませんが、夕ご飯の用意をしていると、自分から「何かしようか?」と言ってきてくれます。買い物のときも荷物を持ってきてくれて頼もしいです。(中)

※お手伝いは、親子がふれあう一番のチャンスです。低・中学年のうちは親子いっしょに、高学年は家族の一員としての責任をもたせてもいいですね。そして、「あなたのおかげで助かった、ありがとう」と心から感謝してあげてください。その積み重ねで、子供は支え合うことを学んでいきます。

○よいことと悪いことの判断を教えるのが難しいと感じています。悪いことと分かっているがやってしまったとき、どう教えてよいのか悩むことがあります。(中)

※「よいこと」「悪いこと」については、「あなたはどう思うの?」と問いかけ、「私はこう思うよ」と親もいっしょに考えてあげてください。キーワードは、「いっしょに」です。

○決めたお手伝いを、毎日弟と分担して行っています。助かっていることを伝えていきます。(中)

○あいさつがしっかりできるように声をかけています。元気に返してくれるのでうれしいです。(中)

○高学年になって忙しくなり、家庭学習に時間をとられ、ふと気がつくといつも就寝時間に。早寝さ

せたい気持ちと、娘とのふれあう時間を大事にしたい気持ちのどちらが大事か悩みます。(高)

○家族のふれあいを大切にしています。毎日の出来事や悩み事があったと

きは、正直に気持ちを伝え合う時間をとるようにしています。(高)

※高学年は、自分のことを見つめ直したり、周りの大人の生き方に共感や反発を感じ始める時期。大人の権威の押しつけを嫌います。まずは、子供の言うことに耳を傾けてみましょう。その後、「でも、私はこう思うよ」と、親の気持ちや考えを伝えるのが効果的だと言われています。

○よいことも悪いことも素直に家族で話すようにしているためか、本人も何でも話してくれます。手伝いも自分から進んでしてくれて助かっています。(高)

○5年生のときに委員会でゴミ出しをしていました。6年生になって家のゴミ出しをやりたいたいと言いました。学校で身についたことが、家族のために自分が役に立てるとがんばっています。(高)

### ＜規則正しい生活リズム……けじめしっかり＞

○ゲームについては、本人と相談して、してもいい日・時間を決めて守れるようになってきた。(低)

○毎日必ず決まったお手伝いをしてくれます。「ありがとう、助かったよ」と必ず声をかけています。(低)

○早寝・早起きをしています。5時間目や学童のときに眠くなるようで、少し心配です。(低)

○早寝・早起きとゲーム・テレビについて、大人の生活スタイルに子供が付き合わされているのではと、親の方が反省しています。(中)

○早起きして健康に元気で登校できる環境を家族ぐるみで作ってあげたいと思います。(中)

※「早寝、早起き」で、からだもこころも健康に！睡眠を十分にとり、早起きできる習慣は、「朝ご飯」をしっかり食べ、一日を元気に過ごす生活リズムを整えていきます。

○料理に興味をもち始め、「切ってみたい、混ぜてみたい、入れてみたい」と言うようになりました。挑戦しているとき、すごくうれしそうです。(中)

○3年生になり、だんだんスポ少も忙しくなり、時間の使い方や配分が難しくなってきました。(中)

○いままで苦手だった野菜も残さず、自分で決めた量を食べるようになりました。(中)

○間食はあまりしないようにしたところ、食事量が増え、体が大きくなりました。また、運動することの必要性、重要性を繰り返し話してあげることで、習慣として身につけてきたようです。(高)

○「けじめしっかり」がなかなか親子共にできていないと感じています。つい甘やかしてしまうため、テレビ、ゲーム、マンガなど時間を気にせずにし続けるので、時間を決めて守らせたいです。(高)

○今の子供たちは、習い事やスポ少などで忙しく、早寝・早起きがなかなかできないのが現実です。もう少し、規則正しい生活をさせてやりたいのですが。(高)

○自分の判断で早寝ができるようになりました。早寝・早起き、3食をしっかり食べることができているので、体調不良になることはありません。6年生らしくなったと思います。(高)

○高学年になり、遅寝が目立つようになりました。心配しています。(高)

○学級懇談会で、ゲームやネットについて各家庭の様子が聞けました。子供任せにしていることも多く、トラブルにならないように、親が関心をもたなくてはと反省しています。(高)

※家族で決めたルールは、「ダメなことはダメ」「これは我が家のルール！」と言い続けましょう。親ががんばって譲らなければ、子供は「うちの家はそうなんだ」と必ず思うようになります。大人のぶれない姿を見せることが大人への信頼につながります。ただし、大人も約束したことは守りたいですね。

学校の教育活動・家庭と学校の連携他

＜学校での学習や生活＞

- 「あったか言葉」の活動、とてもいいと思います。でも実際には、「ちくちく言葉」を結構口にして  
いる子も多いなと感じます。その心が根付くまで続けてほしいと思います。(低)
- 「あったか言葉」を続けていただきたいです。家でもうれしくなる言葉をかけてくれます。私も、  
心の中だけで思わずに、言葉にして伝えられるように心がけています。(高)
- 担任の先生(先生方)の何気ない声かけや「がんばっているね」「ありがとう」の言葉がとてもうれしく  
力になるようにです。家での様子をみていると分かります。ありがとうございます。(高)
- ※「あったか言葉」を出し合う取り組みは、本校で子供たちも、私たち教師も大事にしている活動の一つ  
です。ご家庭でも、お子さんのがんばりや成長にたくさんの「あったか言葉」をあげてください。
- 朝活動の大縄跳びがすばらしいと思います。上級生の子が休み時間に誘ってくれたり、跳ぶタイミ  
ングを教えてくれたりしたおかげで、我が子も跳べるようになりました。(低)
- 春から秋の全校リレーや、冬期間の大縄跳びをこれからも続けてください。上学年が下学年のお手本  
となり、自分自身への自信や励みににもなるのではと思っています。(中)
- いろいろな場面(清掃、給食、全校リレーや大縄跳びなど)で縦割り活動は、とてもよいと思っているの  
で、今後も続けてほしいと思っています。(高)
- 学習だけでなく、委員会活動、全校リレーや掃除などの縦割り活動、ランチルームの給食を通して、責  
任感を育てていただいていると思っています。6年間育てていただいたことに感謝しています。(高)
- 校外学習が多く、とてもいいことだと思います。直接働いている方の声が聞けたり、普段目にできない  
所も見学できたり……と、子供は興味をもって学習できるのでありがたいです。(中)
- 学習発表というかたちでの行事はありますか。(低)
- ※本校は、学習発表会というかたちの行事はありません。ただ、卒業を祝う会(6年生を送る会/2月下  
旬)では、これまでの学習(音楽、体育、総合など)を基に、各学年で工夫を凝らして「出し物」を發  
表します。保護者の皆さまには、行事参観としてご案内しますので、子供たちの成長をご覧ください。

＜学校と家庭の連絡・相談＞

- 少し気になったことでも連絡帳に書くとすぐに対応してくださり、心配していたことがすぐに解決  
されほっとします。いつもありがとうございます。(低)
- 先生が気になったことは私も注意して見ることができるので早い段階で教えてください。(低)
- 今年度、何度か相談させてもらいました。どのときも迅速に対応していただきました。(中)
- 休んだ日に宿題などを友だちが届けてくれるので助かります。先生も必ず電話をかけてきてくださ  
るのでありがたいです。(中)
- 電話や連絡帳で、困ったときの相談に応じていただき、ありがたいです。連絡帳で、学校で  
の様子を教えてもらったときもうれしかったです。(中)
- 子供のことで困ったことがあったら、遠慮せずに連絡帳に書くなどして知らせてください。(中)
- 日ごろ、なかなか先生と話ができない分、連絡帳のやりとりは助かっています。心配事など  
を記入したら、くわしくていねいに返事が返ってくるのでうれしいです。(高)

○連絡帳に心配なことばかりでなく、がんばったことも書いてくださったことがありますうれしく思いました。電話をしてくださることもあり、話を聞いたり、自分の気持ちを伝えたりできました。(高)  
※家庭と学校の連携で、大切にしたいのが一本の電話、連絡帳の一言などの「ちょっとした連絡・相談」です。子供の成長やがんばりをいっしょに喜んだり、気になっていること・心配なことを伝え合って、共に考えたりしていきたいと思います。

### － 個別懇談会 12/3～5－

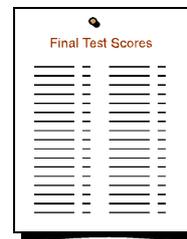
- 話を伺って改めて気づいたことや確かにそうだと思うことがたくさんありました。私も、子供のことをちゃんと受け止めてあげられるよう親の意識も変えてがんばっていこうと思います。(低)
- 先生とじっくり話を聞かせていただき、また聞いていただき安心しました。娘のことが大好きになって帰宅しました。いつもありがとうございます。(低)
- 懇談会では、子供のよさをたくさんほめていただきうれしく思っています。友達関係もだんだん難しくなる年頃ですが、我が子の姿をきちんと見てあげないとなあと改めて思いました。(中)
- 子供のがんばっている所を教えていただいて、家で本人をほめてあげました。家では注意してばかりなので、本人のよさやがんばりをもっと見つけて認めてあげなくてはと思いました。(中)
- ちゃんと子供のよいところや小さな変化も見えていただいているんだなあーと感じました。私が「まだまだ」と思っていることも「そうかー」と納得しました。先生とお話しできてよかったです。(高)
- 我が子の人との関わり方で事前に相談はしていましたが、とても詳しく聞かせていただき安心しました。先生が子供たちをととてもよく見てくださっていることにびっくりしました。(高)

### <家庭への情報提供>

- 学級だより「なかよし」はクラスの様子や先生の気持ちが分かるので、子供が持ち帰ると一番に読んでいます。(低)
- 学校であったエピソードを「たかせの子」で知り、子供と話すきっかけになっています。いろんな出来事を書いていただけるとうれしいです。(低)
- 各種たよりが定期的に配布され、そして読みやすいです。写真も各学年載せてあって、文と合わせて、その様子が伝わってきます。(低)
- 学年だよりのこまめな発行で、行事や学習の進捗状況がわかるので続けてほしい。(中)
- 「たかせの子」が充実していて楽しみにしています。子供たちの様子がよく伝わってきます。(中)
- 緊急連絡がメールで早くいただけるのでありがたいです。休日でもメールがありご苦労様です。(高)
- たかせ小のホームページは、学校での出来事を知る上で、よく見えています。画像数も多く、更新も速やかで、とてもいいなと思っています。(高)
- 学年だよりが写真付きでクラスの様子がよく分かります。学校だよりも各学年の様子が写真付きで載っているので、自分の子供以外の学年のことも知ることができていいです。(高)
- 学年だよりや学校だより「たかせの子」は、学校の様子がよく分かり、いつも楽しみにしています。特に、学校だよりの校長先生のコラムは毎回とても楽しみです。(高)
- ※各種おたよりやホームページには、作成している先生の思いがたくさん詰まっています。保護者の皆さまにはたくさんの応援メッセージをいただきました。ありがとうございました。

### <PTA活動>

- 初めて一般会員でPTA活動に参加しています。夏休みのプール当番は一般会員の方にも参加していただき、役員だけの負担にならないように配慮されていたのだなあと感じました。(低)



○友愛セール当日に一般会員としてお手伝いしましたが、来ていたのは私一人だけだったので驚きました。例年、本部役員の方だけががんばっておられるようでしたが、もっと協力できたら本部役員の負担も減るのではないかなという気がしました。(低)

○両親ともフルタイムで働いているとPTA活動が負担です。(低)

○お楽しみ会のカレーがなくなって子供が残念そうでした。でも、役員の方の負担を考えるとしょうがないのかなと思っています。役員の方には、本当に感謝しています。(中)

○PTA活動の友愛セールは、田家と東布施の方と一緒にできればいいかなと思いました。(高)

○PTA活動への理解が、自分も含めてですが保護者の皆さんになくなりつつあるなと思う。(高)

○PTA役員の負担を減らすことはできないか。PTA行事等の見直しで改善できないか?(高)

○役員の選出の仕方です。大事な役ほど適任者をよく考えてほしいと思っています。また、無駄な活動をなくして、役員の方の負担を減らしてほしいです。(高)

○PTAお楽しみ会は熱中症や食中毒の心配があるので、やらなくてもいいのでは?と思います。他の所に予算を回したり、他のイベント等の内容を検討した方がいいのかなと思っています。(高)

※上記のように、PTA活動に対する保護者の皆さまの考えは、「負担が大きい」「もっとやってほしい」「やめればいい」「協力したい」などいろいろあり、温度差もあります。今年度は、開校1年目ということで、活動内容については「お楽しみ会」「友愛セール」「役員選考の仕方」などを含めて、時間をかけてPTA運営委員会・全体委員会等の役員会で見直しを図ってきたことをご理解ください。

子供たちを育てる「学校の力」は、教職員の力と保護者や地域の皆さまの協力を合わせたものと考えています。今後も、PTA活動にご理解いただき、家庭と学校、保護者同士のつながりが強くなることを願っています。

### <1日学習参観 11/13・11/18>

○学習参観、とても楽しかったです。1学期よりも話を聞く態度や発言に、どの子にも成長が見られとてもうれしくなっていました。(低)

○一日参観は、めったにない機会なので、祖母も来て孫のがんばる様子に満足していました。(低)

○一日参観では、他の学年も見学しました。子供の成長に見通しをもてたり、また高学年の子供さんを目標に考えたりして、とてもよい機会でした。(中)

○子供たちが楽しくのびのびと学習していました。楽しいだけでなく、愛情をもって叱ってくださる先生を子供たちが信頼しているのが伝わってきました。家庭でも大事なことと思いました。(中)

○1学期よりも旧両小学校の子供たちの友達関係が深くなった気がして安心しました。(中)

○一日参観は、初めての体験でした。授業参観とは違って、生活の流れが見え、時間を考えて行動している姿を見たような気がします。今後も続けてください。(中)

○待ちに待った4年振りの一日参観。2日間とも参観しました。なかなか見られない書写の時間や音楽の時間、とても楽しかったです。祖父母も久しぶりに孫の参観をして喜んでいました。(高)

○一日参観に初めて参加し、学習している姿をゆっくり見ることができよかったです。一日の時間を有効に使って学校生活を送っているんだなと改めて感じました。(高)

※1日学習参観については大変好評でした。来年度も続けたいと考えています。(ただし、今年度は英会話の公開授業もあったため1日参観を2日間実施しましたが、来年度は1日間とする予定)

子供の家庭生活

(低/低学年、中/中学年、高/高学年)

＜家庭学習の習慣づけ……勉強コツコツ＞

- 帰ってきたらすぐに宿題をし、時間割を合わせ、次の日の準備をしています。でも、自分の思いが通らなかつたりすると怒ることがあり、がまんする力が足りないかなと思っています。(低)
- 宿題をしてから遊ぶ、次の日の準備をしてから寝るなど、先生のお話も一生懸命に聞いて、私に伝えようとする姿に成長を感じます。(低)
- 家庭学習について、あまり気にしていなかったのですが、最近かけ算の九九が覚えられず苦勞しているようです。家で少しでも上達できるように親も関わらなくてはと感じています。(低)
- ※低学年は、まだまだ手助けが必要な時期。わずかな時間でもいっしょにやったり、できないときは後で目を通して声をかけてあげましょう。子供は、関わってほしい認めてほしいといつも願っています。
- 自主学習ができません。テスト勉強の宿題が出ても、どう学習すればよいのか分からないらしく、自学ノートに書くのも少ないような気がしています。(低)
- ※自主学習については、各学年で参考になる子のノートを教室掲示したり、学年だよりで紹介したりします。ただ、低学年のうち、宿題を確実にやることを大事にして、自主学習は楽しんでできるものが多いです。短い時間でもいいから「家でも勉強するんだ」という習慣を付けさせてください。
- その日によって、宿題に時間がかかったり、集中できなかったりすることがあります。でも、途中であきらめずに最後までするのでほめてあげたいと思います。(中)
- ※ほめるときに、子供がうれしいのは、そのがんばりや成長をいっしょに喜んであげることだそうです。
- コツコツとまではいきませんが、分からないことをすぐに親に聞くのではなく、自分で調べようとする姿が見られるようになってきました。そんな姿に日々の成長を感じています。(中)
- 最近気になっていることは、宿題を終わらせることに一生懸命で実際に身につけていないように思います。やろうとする姿勢だけでも認めてあげるべきだと思いますが、少し心配です。(中)
- ※子供は新しいことを蓄積する時期と、それを用いてぐんと伸びる時期を交互に繰り返して成長するそうです。成果がすぐに表れなくても、ちょっとしたがんばりや成長をほめてあげることかなと思います。
- テストで間違った点を自主学習として取り組んでいるので、続けてほしいと思っています。(中)
- 自学ノートで、苦手な所や好きな科目の学習をしたり、家にある本などを読んだりする時間が前よりも多くなり、よかったなと思っています。(中)
- 一度も子供部屋の机で勉強したことがなく、リビングで私のそばで学習することが多いです。年齢に応じた学習スタイルなどはあるのでしょうか？(中)
- ※「リビング学習」という言葉をご存じですか。子供によっては、家族とコミュニケーションが取れる一緒の空間の方が安心して勉強に集中できるというものです。だから心配いりません。「リビング学習」をやめる時期は、お子さんの自我が芽生えるころに、自然に離れるのを見守ってあげてください。
- 学年が上がるにつれて、家での学習時間が長くなっています。自分から進んで自主学習もやっているのです。えらいなと思っています。(高)
- 夜の8時までには宿題と明日の準備をするという目標を決めてからは、私も声をかけたり、子供も時計を見て時間を気にするようになってきました。(高)
- 毎日の宿題を終わらせる時間が遅く、「早寝」の習慣が難しかったのですが、担任の先生にアドバ

イスをもらって、とても効率よく勉強するようになり、睡眠時間も増えました。(高)

※そのアドバイスは、①親子でめあての時間を相談して決める ②連絡帳や案内プリントと一緒にやり終えた宿題を決めた場所(かご)に置くというものです。親はそれを見て温かい声をかけ、子は見てもらうために計画的に早めに取りかかります。連絡帳の毎日の欄には「準備・宿題〇」とお母さんの字が書き込まれていました。親子でできることを努力した成果ですね。どの学年でも十分に使える方法です。

### <家族のふれあい……ふれあいたっぷり>

○あいさつは、小さいときからよくできていますが、「ありがとう」「ごめんなさい」が上手に言えるようになってほしいと思っています。(低)

○我が家では、同居している祖父母にも必ず「おはよう」「いってきます」「ただいま」「おやすみなさい」とあいさつをしています。これからも続けてほしいです。(中)

○マイペースな子ですが、手伝いも毎日してくれるので助かります。あいさつも「ありがとう」の一言も必ず言ってくれます。(高)

※あいさつや「ありがとう」「ごめんなさい」などは、人とつながる「あったか言葉」です。家庭でなかなか言えない子もありますが、大人の方からたくさん声がけすれば、その姿からきっと学んでいきます。

○2年生になってから、決めた手伝いをずっとしてくれています。毎日忙しい私にとっても本当に助かっています。「ありがとう、お母さん助かるよ」と必ず声をかけるようにしています。(低)

○こちらから「やってね」と手伝いをお願いすることもあります。言わなくても自然にしてくれることがあるので、当たり前と思わず、感謝の言葉をたくさんかけたいと思います。(中)

○夕食後の後片付けを継続的にしてくれ「ありがとう。きれいにしてくれたね。助かるわ。」と必ず声をかけるようにしています。自分がきれいにできることがうれしいようです。(中)

○決めた手伝いは、自分がやらなくてはという責任感があるらしく、やってくれていて助かっています。これからも続けてほしいと思っています。(高)

※お手伝いは親子がふれあうチャンス。また、家族が支え合っていることを学び、物事の段取りを覚えていきます。継続したお手伝いをする中で、子供がしっかりしてきたという話をよく聞きました。

○子供がいろいろな話をしてくれませんが、忙しくてちゃんと聞けないときがあります。そんなときは、いつも思い直して、もう一度聞き直して、気持ちを受け止めるようにしています。(低)

○いろんなことに頑張っています。それが日々当たり前になり、認めてあげることが少なくなっていました。もっとほめてあげよう、そしてゆっくり見守っていこうと思っています。(低)

※当たり前の中に子供のよさがあります。「〇年生なんだから、できて当然」ではなく、「当たり前にできることがすばらしい」という気持ちで接したいですね。それが「ゆっくり見守る」につながります。

○親の仕事が忙しく、帰宅も遅くなって、子供とふれあう時間が少ないのが気がかりです。(低)

※働きながらの子育ては、子供と接する時間が少なくなりがちです。でも、ふれあいは時間の問題だけではないと思うのです。子を思い、子を気にかけて、努力している親の姿はきっと子供に届きます。

○感情の変化がいろいろと出てくる年頃になってきました。でも、いろいろと話してくれるので、親の一方的な意見を言うのではなく、親身に受け止めてあげたいと思っています。(中)

○娘は学校であったことを毎日話してくれます。先生や友達のこと、勉強したことや給食・休み時間のことなど。私まで学校で過ごしているような楽しい気持ちになります。娘に感謝です。(高)

○一人っ子なので、とてもマイペースな子だと思います。あまり叱らないようにとは思っているので

すが、ついつい声をかけすぎて、子供のやる気をそいでしまっているような気がします。(高)

○家庭で様々なことを親子で話し合っているつもりですが、善悪の判断が不十分なところがあるため  
今後も子供の話をちゃんと聞き、間違っているところは指摘していきたいと思います。(高)

※子供ですから判断が十分でないことがよくあります。どの学年であっても、「よいこと・悪いこと」につ  
いては「あなたはどう思うの?」と問いかけ、「私はこう思うよ」といっしょに考えてあげてください。

○家族にそっけない態度をとり兄弟げんかも起きます。互いを思いやるように家で話し合いました。(高)

○息子は、ときどき学校での出来事をポツポツと話してくれますが、母親には言えないことも多いよ  
うで……。なるべく、たあいもない会話でコミュニケーションをとるようにしています。(高)

○現在、思春期の入り口でちょっとした口答えもありますが、自分できちんと考えて学習したり、親  
にもいろいろと話をしてくれます。基本を踏まえつつ、多少の甘え?は許しています。(高)

※高学年は、自分のことを見つめ、周りの大人の生き方に共感や反発を感じ始める時期。大人の一方的な  
押しつけを嫌います。まずは、子供の言うことに耳を傾けてから、親の気持ちを伝えましょう。

### <規則正しい生活リズム……けじめしっかり>

○なかなか早寝・早起きができないので、一緒にがんばっていききたいと思います。(低)

○疲れているときなどは、あまり夕食を食べようとしないので少し心配です。(低)

○朝食を少ししか食わず、食べないときもあります。勉強に集中できるかな?(中)

○生活のリズムは身につけていますが、スポ少などで勉強時間を確保するのが難しいようです。(中)

○最近、寝る時間が遅く、口うるさく言ってみたり、約束事も決めているのですが、なかなか実行で  
きないのが現実です。困っています。(高)

※「早寝・早起き・朝ご飯」といった生活リズムが乱れると心身のバランスをくずします。それが分かるの  
は朝です。なかなか起きれない、食事をあまり食べない、いつもだるそうなどの症状は、学校生活にも  
影響します。もし不安を感じたら、その心配を伝えて、改善できることを一緒に考えてあげてください。

○ゲームは、始める前に本人と一緒に時間を決めていても、約束を守らず「もう少し!」と言ってダ  
ラダラすることがあり、対応に困っています。(低)

○IT関係(ゲームやIpot、パソコンなど)は日々進化して、子供がそれに時間をとられていること  
が多いようです。ゲーム依存にならないようにする方法を知りたいです。(中)

○ゲームは1日30分と時間を決めてやっていますが、約束を破ったときはゲーム禁止令を父親が出  
します。最近、「〇〇するから、禁止期間を短くして」と交渉するようになってきました。自分の  
思いを伝えようとする様子に成長したなと思いました。(中)

○ゲームの時間がなかなか決められず、だらっとしている時が多くありますが、勉強とのスイッチを  
きっちり分けられるように声をかけています。(高)

※子供のゲーム時間の対応に苦慮しているという感想が多くありました。大事なのは、家へ帰ってから就  
寝までの時間には限りがあること。勉強時間、食事やお風呂・家族団らんの時間、そして自由時間(ゲ  
ームの時間も含める)、他にもスポ少や習い事がある子もいるでしょう。ゲームの時間だけにとらわれず  
に、他の時間との兼ね合いも含めて、家での無理のない時間の使い方を一緒に考えるチャンスです。

※どんな約束事も、家族で話し合っ、最後は子供に決めさせましょう。子供が納得していない約束事は  
なかなか守れないからです。うまくいかない場合は、また一緒に考えてあげることも大切です。

## 6 教育活動の振り返り(内部評価)

(1) 1学期の反省をふまえた2学期の重点事項

H.26. 8. 29

【教務部会】

重点課題	重点的な取り組み
★アクションプラン	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学習習慣チェックデーの日に、各学級で家庭学習の取組について指導する。</li> <li>○学習習慣チェックは、前回から2週間を振り返って記入する。</li> <li>○家庭学習の取組について、掲示や学年だよりでの家庭への呼びかけを行う。</li> </ul>
教育課程	<ul style="list-style-type: none"> <li>○総合的な学習の時間は、4時間とする。教科の時数に注意する。</li> <li>○総合的な学習の時間の年間指導計画を9月中に作成する。</li> <li>○クラブ活動については来年度も今年度と同じようにする。</li> </ul>
学習指導計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>○金曜日6限の補充の時間は、委員会がないとき原則実施する。総合的な学習の時間に伴う教科の遅れに充てる。</li> </ul>
道徳教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「私たちの道徳」の活用を工夫する。できれば学期に1度は、学校や家庭で活用していく。長期休業中には家に持ち帰って活用する。</li> <li>○学習参観での道徳の授業を推進する。</li> </ul>
キャリア教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>○日頃のあいさつや係活動など、普段の活動を大切にしていく。</li> </ul>
情報教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>○書画カメラを常時使えるように設置し、活用していく。</li> <li>○情報モラルの指導を学級で指導していく。</li> <li>○書画カメラの応用的な活用について研修会を開く。</li> </ul>
図書館教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>○読み聞かせを1～3年で継続して行う。</li> <li>○学級文庫の本入れ替えを徹底していく。入れ替えについては、委員会だけでなく、学級担任が責任をもって入れ替えることもできるようにしていく。</li> </ul>
英会話科 国際理解教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>○Picturecard を授業で活用していく。給食時の Picturecard の発表は、書画カメラを使ってスクリーンに拡大していく。</li> <li>○今月の歌や朝の校内放送、健康観察（毎週金曜日）を英語で行う。</li> <li>○英会話科公開授業に向けて、J A T や A L T と打合せをしっかりと行っていく。</li> </ul>
特別支援教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>○個別の指導計画を作成した。夏休み中に1学期の反省と2学期のめあてを決め、子供たちによりよい支援ができるようにする。</li> <li>○診断のある（薬を服用している）児童の「個別の教育支援計画」を作成する。但し、保護者と話し合い、同意のもと作成する。</li> </ul>
学習環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教室内の掲示物の共通理解（黒部市民憲章、たかせ小学校の目標、学習習慣チェック）「話す・聞く・書く」の掲示は外す。</li> <li>○職員室前の児童作品の貼り替え。掲示する児童の作品には朱書きを入れていく。</li> </ul>
研修	<ul style="list-style-type: none"> <li>○通常訪問研修や英会話科公開授業に向けて部会や学年ごとに協力し、計画的に取り組んで行く。特に事後研修では、3つの視点をもとに進めていく。</li> </ul>

【生徒指導部会】

重点課題	重点的な取り組み
★アクションプラン	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「あったか言葉」への関心を高める活動の工夫。</li> <li>・「あったか言葉」の掲示物を各学級に掲示する。</li> <li>・1～4年生の取り組みを紹介する場を設ける。(給食時等)</li> <li>・人権集会11月頃実施(いじめゼロに向けた「あったか言葉」運動の推進等)</li> </ul>
あいさつ	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 声の大きさだけでなく、顔を見てあいさつする人を増やす。</li> <li>○ 学校だけでなく、家庭や地域で会った人にも気持ちよくあいさつができることを重視して取り組む。(ハッピープロジェクト委員会)</li> <li>○ あいさつボランティアデー(各学年月1回程度 7:50～8:00)</li> </ul>
生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 生徒指導上の問題は、今後も組織的な対応を大切にする。</li> <li>○ 学級だけでなく、他の学年の子供たちにも目を向け(声をかけ)、学校全体で子供たちを見守る意識をもつ。(情報交換を大切にする。)</li> <li>○ けがの予防のため、廊下歩行の徹底を図る。 (カメカメ大作戦、視覚的なグッズの作成 ハッピープロジェクト委員会)</li> <li>○ 持ち物の記名を呼びかけるとともに、持ち物に責任をもてるように指導する。</li> <li>○ 休み時間の子供たちの様子を見守る(可能な日に)</li> <li>○ 下校指導を継続する(時間を守る。)</li> </ul>
交通安全	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 街頭指導を行った日は、その様子を街頭指導者がランチルームで伝える。</li> <li>○ 校区の危険箇所マップの作成(子供たちが見て分かりやすいもの)</li> <li>○ スクールバスでの継続的なマナー指導、運転手との情報交換を行う。</li> </ul>
児童活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 給食時における委員会の放送を精選する。 (落ち着いて食べる時間を確保するため、曜日によって偏りがないようにする。)</li> </ul>
人権教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ アクションプランと関連で実施する。</li> <li>○ 募金活動 12月頃実施する。</li> </ul>
教育相談	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ スクールカウンセラーとの連携を工夫する。 (各学級でスクールカウンセラーが話をする時間を設ける。)</li> <li>○ ふれあい週間を実施する。 10月中旬 (子供の様子が気になる場合は、適宜相談の時間を設ける。)</li> </ul>

【保健部会】

重点課題	2学期重点的な取り組み
★アクションプラン 「元気にここにカード」の活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「元気にここにカード」は、2学期からは、学習習慣・生活習慣と同じ日にチェックし、数日間を振り返って評価する。</li> <li>・寝る時刻は、低学年9:00、中学年9:30高学年10:00に布団に入ることをめあてとする。</li> <li>・月曜日の早寝清潔検査も上記の時間とし、○か×で評価していく。</li> </ul>

<p>望ましい生活習慣の育成</p>	<p>○ゲームをする時間が大変長い児童もいる。ゲームは心身の健康への影響が大きい。親子間の約束がある家庭もあるが、そうでない家庭も多い。学校側からゲームをする時間について啓発をしていく。</p> <p>○「脳を大切にすること」をテーマに学校保健委員会を行う。ゲームやテレビ視聴の時間との関連等もふくめ、脳を大切にすることが、健康な体や心をつくることへの理解を深め実践に結びつけていく。</p>
<p>体力づくり チャレンジ3 015の活用</p> <p>朝のランニングや全校縦割レクリエーション等</p> <p>体育科年間指導計画</p>	<p>○各クラスの実態に応じて「チャレンジ3015」の記入の時間を設定している。今後も継続していく。</p> <p>○朝のランニングには全体的に意欲的にとりくんでいる。業間のマラソンは、3分間走、6分間走で実施していく。</p> <p>○計画案に従って全校縦割りレクリエーションを実施していく。</p> <p>○スポーツテストの結果として、握力、ソフトボール投げ、長座体前屈がよい結果ではないことが予想される。これらの力が高まるような運動を取り入れていく。11月ごろにシャトルランを再度計測し、6月の記録と比較し、成果を検証する機会を設ける。</p> <p>○「ぼく、わたしの運動カルテ」にスポーツテストの結果表を添付し記録を累積し、家庭にも連絡する。</p>
<p>給食</p>	<p>○スムーズな配膳準備、他の児童が落ち着いて安全にまつことの指導をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・配膳指導と教室に残る児童の指導に当たる担当者を明確にする。ランチルームの座席と併せて担当者を決める。</li> <li>・1年は読み聞かせ、2～6年は読書時間としている。読書大好き委員会の子供たちが「読書パトロール」をし、着席して読書することを呼びかけてはどうか。</li> </ul> <p>○放送は静かに聞くことを習慣づけていく。</p> <p>○最後まで協力して後始末をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各食事のテーブルのあとしまつは、5、6年生が残り、担当の先生に確認をする。</li> <li>・配膳テーブルは、給食当番児童（4～6年生）が残り、挨拶をして終わる。</li> </ul>
<p>清掃</p>	<p>○縦割り清掃について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リーダーを中心に、時間一杯することを徹底する。1時48分までは掃除をする。残り2分は、用具の後始末、反省会をする。</li> <li>・金曜日は水拭きの日として泥や砂のよごれを取る。（ランチルームでの放送はしない）</li> <li>・清掃用具の後始末点検や用具の点検を委員会児童の常時活動にしていく。</li> </ul> <p>○外掃除</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水曜日に実施していたが、業間のマラソン運動と重なり、暑い日には子供の体調を考慮して、月の第1、3木曜日に実施する。</li> </ul>

## 【教務部会】

重点課題	重点的な取り組み
★アクションプラン	<ul style="list-style-type: none"> <li>○家庭学習をより一層充実させる。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の中で、家庭学習として取り組んでいけばよい内容について声がけする。</li> <li>・取り組めない子供には、朱書きを入れる。</li> <li>・家庭学習をしっかりと取り組んでいる子供のノートを掲示する。さらに学年だより等で家庭へ呼びかける。など</li> </ul> </li> </ul>
教育課程	<ul style="list-style-type: none"> <li>○総合的な学習の時間は、実施時数から判断し、原則元に戻す。</li> <li>○年間指導計画の作成、見直しを進める。(社会科提出2月中旬、その他年度末)</li> <li>○木曜日の1時間目を確保していく。</li> <li>○朝読書の徹底</li> </ul>
学習指導計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>○金曜日6限の補充の時間は、一斉授業か自習学習(個別指導)とする。</li> <li>○算数の時間は、学習問題についてまとめた後、練習問題に挑戦するように授業構想を行う。(時間の目安は10分)</li> <li>○キーワードを使って本時の学習問題についてまとめる。</li> </ul>
道徳教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「私たちの道徳」の活用を工夫する。</li> <li>○学習参観での道徳の授業を推進する。</li> <li>○年間指導計画の見直す。</li> </ul>
キャリア教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>○日頃のあいさつや係活動など、普段の活動を大切にしていく。</li> </ul>
情報教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>○書画カメラを常時使えるように設置し、活用していく。</li> <li>○情報モラルの指導を学級で指導していく。(道徳、特別活動の時間を活用)</li> </ul>
図書館教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>○読み聞かせを1~3年で継続して行う。</li> <li>○学級文庫の本入れ替えを徹底していく。入れ替えについては、委員会だけでなく、学級担任が責任をもって入れ替える。</li> <li>○アルミ缶文庫を増やす。</li> </ul>
英会話科 国際理解教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>○給食時の Picturecard の発表等</li> <li>○今月の歌や朝の校内放送、健康観察(毎週金曜日)を英語で行う。</li> <li>○J A T や A L T と打合せをしっかりと行っていく。</li> </ul>
特別支援教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>○個別の指導計画に2学期の反省と3学期のめあてを記入し、子供たちによりよい支援ができるようにする。</li> </ul>
学習環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>○職員室前の児童作品の貼り替え。掲示する児童の作品には朱書きを入れていく。</li> </ul>
研修	<ul style="list-style-type: none"> <li>○研究のあゆみの作成に取り組む。部会で読み合い、しっかりと検討する。</li> </ul>

【生徒指導部会】

重点課題	重点的な取り組み
★アクションプラン	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「あったか言葉」への関心を継続的に高める活動の工夫。</li> <li>・ 階段に貼ってある各学級の「あったか言葉」カードを学級に掲示。</li> <li>・ 「あったかポスト」の設置。あったかカードに記入し、ポストに入っていたカードをランチルームでハッピープロジェクト委員会が紹介。(週1回)</li> </ul>
あいさつ	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 顔を見てあいさつ。地域で会った人にも気持ちよくあいさつする。</li> <li>○ あいさつボランティアデーの計画・実施。(各学年1回 7:50~8:00)</li> <li>・ 各学年の日程を具体的に決めて取り組む。</li> <li>・ あいさつの方法や場所は各学年で工夫する。</li> </ul>
生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 生徒指導上の問題は、今後も組織的な対応を大切にする。</li> <li>○ 休み時間における廊下歩行指導、安全指導を行う。</li> <li>・ カメカメ大作戦を工夫する。(ハッピープロジェクト委員会)</li> <li>・ 冬の校内での遊び方について代表委員会で話し合ったことを報告、指導する。</li> <li>・ トランプやオセロ、将棋、昔遊び等、校内でできる遊びを充実する。</li> <li>○ 持ち物の記名の呼びかけ。自分の持ち物に責任をもてるよう指導する。</li> <li>・ 落とし物は、月1回職員室前に並べる。</li> <li>○ 下校指導の継続(下校時刻を守る。)</li> </ul>
交通安全	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 街頭指導者が月1回程度ランチルームで様子を伝える。</li> <li>○ バス乗り場でのマナーを指導する(特に積雪時)</li> <li>○ 校区の危険箇所マップを作成する。</li> </ul>
児童活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 児童集会の計画的な実施(引き続き3学期も)</li> <li>○ 卒業を祝う会(6年生を送る会)の企画、運営の仕方の検討</li> <li>※A案 5年生が中心になって取り組む。</li> <li>※B案 企画委員会、集会委員会の4、5年生と5年生で取り組む。</li> </ul>
人権教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ アクションプランと関連を図る。</li> <li>○ 募金を社会福祉協議会の方へ渡す。</li> <li>・ 給食時にランチルームで渡す。社会福祉協議会の方からも一言いただき、子供たちが募金の意味を実感できるようにする。</li> </ul>
教育相談	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ スクールカウンセラーとの連携を工夫する。</li> <li>・ 3学期は、3年生での心の勉強を計画中</li> <li>・ 気になる子へのサポートを行ってもらう。</li> <li>○ ふれ合い週間は特に設けないが、一人一人との日々のかかわりを大切にする。</li> <li>・ 1日1回は全員と会話できるように!</li> </ul>

・子供の様子が気になる場合は、適宜相談の時間を設ける。

【保健部会】

重点課題	3学期重点的な取り組み
<p>★アクションプラン 望まし生活習慣の育成 「ノーゲームデー」の提唱</p>	<p>○ゲームをする時間が大変長くなっている児童がいる（とやまゲンキッズの調査結果から。朝からゲームをして登校する児童もいる。注意力、集中力の低下につながる。ゲームでの遊び方について家庭で相談、よい遊び方を考えていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ゲームをする時間（平日、休日）やゲームをする時の約束、「ノーゲームデー」のやり方について話し合う機会を設けることを家庭に提唱する。</li> <li>・「元気にこここカード」には、各児童が、家族と話し合った約束の時間や明記して、評価していく。</li> </ul>
<p>体力づくり  「運動カルテ」の活用</p>	<p>○体育の時間以外の運動を奨励し「チャレンジ3015」の記入を継続していく。1月31日回収する。</p> <p>○冬季の運動として、なわとびを使っての運動を勧める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「たかせ小学校 なわとびカード」は全校で使う。</li> <li>・学年の実態に応じた種目やなわとび大会の種目に重点的に取り組ませたいときは、各学年で作成する。</li> <li>・練習の場を確保するために1月21日から2月13日までは体育館ステージ側は短なわとびスペースとする。この間バトミントンは禁止とする。</li> </ul> <p>○これまでの運動の記録を「運動カルテ」に記録し、各児童及び保護者にも知らせる。新体力テストについては、全国平均の数値も活用し、自分の強い部分や課題となる部分の把握ができるようにする。</p> <p>○新体力テストの学年の結果については学級運営案に綴る。弱い部分が補強できるような運動を紹介する。（体育部から）体育の授業などで取り入れる補強していく。</p>
<p>給食指導</p>	<p>○学校給食週間の取り組みとして給食集会を実施し、マナーチェックや食べ物クイズを通して食についての関心を高め、実践につなげていく。</p>
<p>清掃・環境整備</p>	<p>○ワックス塗布について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・廊下ワックスは、2月に塗布する（年2回）</li> <li>・教室、ランチルームのワックス塗布は、3月に（年3回）</li> </ul> <p>○児童玄関の雪水対策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各児童の下足入れの下に古ぞうきんを敷く。</li> <li>・通路が濡れた状態のため、児童は通路で長靴を履こうとして、益々濡れる。対策を講じる。</li> </ul> <p>○教室の換気</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ブルーヒーターによる教室の乾燥と空気の汚れ対策として、休み時間や清掃時間には窓をあけ換気を心がける。また、霧吹きや濡れタオルを活用し乾燥を防ぎ、インフルエンザの予防にも努める。</li> </ul>

	今年度の成果及び課題	○成果 △課題
学校運営	<p>①教職員の協働体制づくり（内に開かれた学校づくり）</p> <p>○日ごろから様々な取組の成果を認め合ったり、課題を共有して共に取り組んだりするなど、校務の充実を通して協働関係を強めた。</p> <p>○校務や研修のスリム化を図り、会議・行事なども見直し、学校パワーアップを推進した。</p> <p>△学校が組織として動くために、さらに確実な「報告・連絡・相談・確認」を大事にしていく必要がある。また、教職員の学校運営への参画意識を高めることで、活力ある学校づくりにつながるものと思われる。</p> <p>△教育活動の重点化をさらに図り、年間を通したP D C Aの評価活動を工夫する。</p> <p>②家庭・地域との信頼関係づくり（外に開かれた学校づくり）</p> <p>○各種たよりによる積極的な情報発信は、学校への視線を変え、家庭との連携の一助となっている。また、学校だよりの「保護者アンケートのまとめと返信」では、学校と家庭の思いとともに保護者間の子育ての考えのよさや違いを知る機会とした。</p> <p>△今後も、家庭との「ちょっとした連絡・相談」を大事にして信頼関係づくりを進めたい。</p> <p>③教師の資質向上（人づくり）</p> <p>○教師の仕事や授業づくり、子供や保護者との対応などについて、日ごろの会話や雑談を大事にしている。今後も互いに学び合う職員室にしていきたい。（O J T）</p> <p>○校長の願いや学んできたことなどをできるだけタイムリーに伝えてきた。（職員室通信）</p> <p>④特別支援に関する校内支援体制の整備</p> <p>○正副特支コーディネーターを軸に、支援を要する児童へのサポート体制を強化した。</p>	
学習指導	<p>①わかる・できる授業の取組</p> <p>○研修では授業の導入・展開・終末での視点を基に、学団での互見授業や事前・事後研を通して指導の工夫に努めた。また、研修の振り返りとして実践報告会(3月)を行い、それぞれの授業で効果的であった指導の工夫を発表し合って互いに学ぶことができた。</p> <p>○書画カメラを全教室に配置(5月)して効果的な活用に取り組み、徐々に使う頻度も高くなった。振り返りの全体研修会(12月)では、各先生の効果的な活用を学ぶことができた。</p> <p>②学ぶ意欲の向上と授業規律の確立</p> <p>○「学習習慣チェックカード」から、各学級で重点項目を決めて取り組んで成果があった。</p> <p>○「聞き合う力を育てる」ための3つの約束事や「話す・聞く・作業する」の区別等、全校で共通した学習規律の確立に努めることができた。</p> <p>△授業での生徒指導の機能（自己肯定感を高める～「自己存在感」「共感的な人間関係」「自己決定の場」など）を生かす研修を、さらに進める必要がある。</p> <p>③家庭学習の習慣化（アクションプラン2）</p> <p>○各学級で家庭学習の方法を具体的に指導したり、自主学習ノートの活用をよさを掲示したりすることで、家庭学習のめやす時間（10分間×学年）を達成した子供が増えた。</p> <p>△今後、家庭学習を充実させていくには、授業の学習内容と家庭学習を効果的につなげたり、家庭学習の取組のよさを発信したりして望ましい学習習慣の定着を図りたい。</p>	

	今年度の成果及び課題
生徒指導	<p style="text-align: right;">○成果 △課題</p> <p>①積極的な生徒指導の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○子供の不安や悩みを見逃さない観察と共感的な声かけや相談活動に努めた。 (日ごろのふれあい、「ふれあい週間」、「生活アンケート」他)</li> <li>○生徒指導の力量を高める校内研修会を行い、互いの考えのよさや違いを学んだ。 (生徒指導の事例研修1回/要請訪問、「いじめ」に関する研修と振り返り1回)</li> <li>○ネットに関するアンケートを基に、子供への指導(ネチケット教室・7月/5.6年生対象)を実施した。また、保護者へも保健だより等を通してその様子を知らせたり、学級懇談会で話し合ったりしながらネットトラブル防止への意識を高めることに努めた。</li> <li>△「報告・連絡・相談・確認」を徹底し、些細な情報も共有して、問題がおこった場合は組織で対応する支援体制(生徒指導小委員会他)を今後も強化していく。</li> <li>△生徒指導研修の振り返りで、子供同士のつながりを強めるソーシャルスキルなどの学級指導が十分でないことが分かった。今後の学級づくり・集団づくりの課題でもある。</li> </ul> <p>②児童の温かい人間関係づくり(アクションプラン2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○年間を通して、児童会のプロジェクト委員会を中心に進めた「あったか言葉」の広がり で、子供たちの温かい関係づくりに成果が見られた。 (「あったか言葉」の発表・掲示、「あったかエピソード」「あったかポスト」他)</li> <li>○学級においても、「きらきらを見つけて伝えよう」「なかよしメッセージ」など、帰りの会などで互いを認め合う温かい取組を進めた。</li> <li>△来年度は、子供たち同士で「笑顔であいさつ」を合い言葉にして「あいさつ運動」を進めたい。加えて、友達同士で「くん」「さん」を付けて呼び合う取組も進めていきたい。</li> </ul>
健康安全	<p>①健康指導(アクションプラン3) ※県学校保健会優秀賞を受ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「早寝・清潔検査」や「とやまゲンキッズ作戦」の結果を、保健だより(1~27号)などを通して、家庭と共有し連携しながら、健康な生活習慣づくりに成果があった。</li> <li>○ゲーム使用等を含めた生活の見直し(1月~2月)は、各学級で指導したり、学級懇談会で話題にしたりして、各家庭で子供の生活リズムやゲームのルールを見直す機会となった。</li> <li>○「大切な脳を守ろう」(学校保健委員会4~6年 11/20)、「あなたが大好き」(いのちの授業6年7/4)などに取り組み、心とからだの健康づくりについて考えることができた。</li> </ul> <p>②体力づくりの日常化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「みんなでチャレンジ3015」等を活用して、始業前の自主マラソン、週一回の全校リレー(冬期は大縄跳び)、大休憩時のマラソン(毎週水曜日)など、子供たちは目当てをもって取り組むことができた。</li> <li>△体力テストの結果、全学年共通の弱弱点(長座体前屈・柔軟性、上体起こし・腹筋力)があり、日ごろの体育の授業等を通じた活動の工夫が必要である。</li> </ul> <p>③安全指導</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○防犯パトロール隊や学童保育指導員(たかせキッズ)など、地域の方との連携を図り、児童の安全確保に努めた。</li> <li>△事故やケガの未然防止、発生したときの対処など、学校の危機管理体制を整備するとともに、児童及び教職員の危機管理意識を高める。</li> </ul>